

## 委員会報告

「今年度のまとめ及び次年度に向けて」

奉仕プロジェクト委員会

委員長：松元 直美

奉仕プロジェクト委員会では、今期の年次目標を「ロータリーの奉仕を学び、ジャパンカレント奉仕プロジェクトの基礎を作るとし、そのために地区委員・スポンサークラブ・地区内のRC・他地区のEクラブ等に働きかけ積極的に奉仕を学ぶ機会をもつ。それを報告し合い長期的視野で自分たちの奉仕プロジェクトを組み立て、これらの活動により会員がどう感じたか、どう活かしたいかなど、意見を酌み交わすことを大事にして残し、それを基に基礎を組み立てていく。感動する気持ちを大切に、その時の想いを共有し大事なものをみつけていきたい」として活動してきました。

### I. 他クラブからの学び

他クラブの活動に学ぶために、スポンサークラブをはじめ他ロータリークラブ宛てに文書を発送し、各クラブの奉仕プロジェクトについて調べ、了解を頂いたクラブの行事に参加させて頂きました。

- ①JR鹿児島中央駅のアミュプラザで行われた日本赤十字社鹿児島県支部・鹿児島東南RCによる「青少年に対しての献血啓発活動」に参加しチラシ配布や献血の呼びかけを行う。
- ②鹿児島大学教育学部で行われた鹿児島RCによる「発達障害のある子どもたちの理解と支援」特別支援教育講習会に参加。子育て世代の保護者や福祉関係者と共に、講演会に参加し、ディスカッションを行う。
- ③山田青少年奉仕委員長による例会卓話「新世代の為の月間に寄せて」。
- ④「私の職業奉仕」というテーマで先輩ロータリアンによる例会卓話により奉仕を学ぶ。
- ⑤始良市で行われた日本赤十字社主催「鹿児島県ヤング献血フォーラム」に山田青少年奉仕委員長と共にボランティアとして参加。
- ⑥大垣西ロータリークラブ例会にて、紙芝居「薩摩義士ものがたり」を読ませて頂き、奉仕の精神で繋がった薩摩と美濃の報恩感謝の心を例会にて寄稿。

### II. 独自の奉仕プロジェクト

ポリオ撲滅街頭募金活動を行いました。11月9日（日）山形屋アーケードにおいて国際ロータリーのポリオ撲滅パンフレット、ポリオ撲滅が何故必要であるのかこれまでのロータリーのポリオ撲滅への取り組みがわかるパンフレットを独自で作成し、募金を呼びかけバッジを配布しました。結果、24,512円の寄付が集まり、この活動を通して地域の方の温かいお気持ちに触れ、ポリオに関してまだまだアピールしなければならないことを感じま

した。会員のチームワークにより成功したこの企画、前日のラジオ局による広報や当日のテレビ局の取材、新聞による取材もあり、ロータリーの活動を広くアピールすることもできたのではと思います。そして、来る6月7日（日）には宮崎市イオンモールにてポリオ撲滅街頭募金活動第二弾を行う予定であり、宮崎在住の副委員長が中心となって準備を進めているところです。

### Ⅲ. 今後に向けて

今期は、この他にもリアルミーティングにより奉仕の学び合いの機会をもつことや、献血に関する例会卓話や勉強会も計画しておりました。このことについては、来期の奉仕プロジェクトに繋いでいきたいと考えております。

地区行事等の際に会員と交えた時間を大事にしながら奉仕プロジェクトに関する意見交換を行って参りましたが、リアルに会う時間をもっと増やすことが大切だと感じました。

しかし、なかなかそれが叶いません。

そうであれば、私達の「利点」に目を向けていけばよいのではと考えました。幸いなことに私達は同じクラブの仲間が広範囲に在住しており様々な価値観を共有できること、離れていても簡単に毎週のように意思疎通をもてる環境にあり、会員全員がひとつのテーマを共有し意見し合うこと、それは記録されいつでも閲覧でき活かせるという利点があります。今後は、活動の中心となる「例会」にて奉仕について考える機会や会員との意見・提案の時間を大切にしていけたらよいのではと思います。

地域社会の中で行っている奉仕や、これからみんなで取り組んでみたい奉仕の提案などを積極的に行う場をもてば、更に活動が充実していくのではと思います。

奉仕プロジェクト報告から、参加した方の感想コメントが並びそれを次のステージにもつていく提案のコメントが贈られる。例会の書き込みが貴重な委員会の基礎活動を作ることに役立てば、まさに会員の意見や想いが生きるクラブ運営になります。それが成された仲間がリアルに会った時には、きっと話が盛り上がり更に深い話ができいくでしょう。

今期、私がかまくできなかつたことを今後の奉仕プロジェクト委員会において活かして頂き、更に会員が一つになる奉仕プロジェクトの企画により、地域・日本・世界の人々が笑顔で包まれることを楽しみにしています。そして他クラブとの親睦が更に深まり、ロータリーの奉仕についての学びと理解を一層深めていけたらと思います。